

くすりのしおり

615101630

2014年10月改訂

薬には効果（ベネフィット）だけでなく副作用（リスク）があります。副作用をなるべく抑え、効果を最大限に引き出すことが大切です。このために、この薬を使用される患者さんの理解と協力が必要です。

商品名：マツウラ桂枝加朮附湯エキス顆粒

主成分：桂枝加朮附湯（Keishikajutsubuto）

剤形：顆粒剤（褐色）

シート記載：

表面：緑色の帯に白抜き文字で⑱

帯の上部に マツウラ桂枝加朮附湯

帯の下部に ケイシカジュツブトウ 2.0g

裏面：マツウラとリサイクルマーク



この薬の作用と効果について

この薬は漢方薬です。あなたの症状や体質に合わせて処方してあります。

関節の痛みとはれ、神経痛の症状を和らげます。

通常、比較的体力の低下した人で、冷え症で、手足の関節の痛み、はれ、動かしにくいなどの症状を訴える場合などに用いられます。

次のような方は使う前に必ず担当の医師と薬剤師に伝えてください。

- ・ 以前に薬を使用して、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。
- ・ 妊娠または授乳中
- ・ 他に薬を使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、大衆薬も含めて他に使用中の医薬品に注意してください）。

用法・用量（この薬の使い方）

- ・ あなたの用法・用量は《 》：医療担当者記入》
- ・ 通常、成人は1日6gを2～3回に分割し、食前または食間に水またはぬるま湯で服用します。年齢、体重、症状により適宜増減されることがあります。必ず指示された服用方法に従ってください。
- ・ 飲み忘れた場合は、気がついた時点ですぐに1回分をお飲みください。ただし、次に飲む時間が近い場合（約2時間以内）は飲まないで、次に決められた時間からお飲みください。絶対に2回分を一度に飲んではいけません。
- ・ 誤って多く飲んだ場合は医師または薬剤師に相談してください。
- ・ 医師の指示なしに、自分の判断で飲むのをやめないでください。

生活上の注意

この薬を使ったあと気をつけていただくこと（副作用）

主な副作用として、発疹、発赤、かゆみ、どうき、のぼせ、舌のしびれ、吐きけ等が報告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。

まれに下記のような症状があらわれ、[]内に示した副作用の初期症状である可能性があります。

このような場合には、使用をやめて、すぐに医師の診療を受けてください。

- ・ 尿量が減少する、顔や手足がむくむ、まぶたが重くなる、手がこわばる [偽アルドステロン症]
- ・ 体がだるくて手足に力が入らない、手足がひきつる、手足がしびれる [ミオパチー]

以上の副作用はすべてを記載したものではありません。上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。

保管方法その他

- ・ 乳幼児、小児の手の届かないところで、直射日光、高温、湿気を避けて保管してください。
- ・ 薬が残った場合、保管しないで廃棄してください。

医療担当者記入欄 年 月 日

より詳細な情報を望まれる場合は、担当の医師または薬剤師におたずねください。また、医療専門家向けの「添付文書情報」が医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。